



2015年1月のロータリーレートは1ドル=118円 2015年 地区大会は10/24～10/25

LIGHT UP ROTARY ロータリーに輝きを 2014～15 RI会長 黄其光 Gary C.K.Huang (台北 RC)
 ふるさとを育み 世界平和へ 2014～15 2610地区カバナー 永田 義邦 (高岡 RC)
 多様性と団結力を活かして楽しく活動する ~みんなちがって みんないい 会長 宮永満祐美



例会優り

第775回

ホテル日航 5F

2.19 (木) 19:00~20:00

例会出席率 19/37 51.35%



点 鐘

1. ロータリーソング 『それこそロータリー』
2. 四つのテスト

3. 宮永満祐美会長挨拶：
 皆さんこんばんは二週間ぶりの例会です。その間にも ロータリー行事がいろいろありました。IM の

日会長幹事の懇談会があり、辻家庭園に行ってきました。行かれた方も多いと思いますが、私は初めてでした。すばらしいお庭と建物でした。尾小屋銅山所有の横山家が作ったお庭だということです。

また 楊さんの修了展にも行ってきました。とても素敵な作品でした。

さて、今日は facebook についてお話します。以前宍戸さんが 卓話で話された facebook ですが、情報発信のツールで、名前を表示していて、その中で「友達」という登録をした人だけに その人の情報が自動的に配信されます。

私のページを京都北東ロータリー(個人でなく団体も登録可能)が、見ていてくれてつながっています。

先日、京都北東のロータリーデーの記事が配信されました。ロータリーの会員さんに見てもらおうと、それを、自分の友達に転送(シェア)というのを初めてやってみました。石丸先生のページにその記事がついて、「参考になります」という返事もいただきました

宍戸会員が例会時に毎回 例会の様子を配信してくれています

こんな風に、情報が広がるのだなあ と実感しました

今後 私たちの活動で活用できるといい思います。

ゲストのご紹介： [卓話者] 岸アトラライフ研究所 所長 岸 弘 市 (きし こういち) 様

《 食 事 》

幹事、委員会報告等：



大路副幹事：井口幹事がご欠席ということで私の方から2点皆さんにご報告したいと思います。

・一つは来週の例会ですが、「クラブフォーラム」と位置付けまして、次年度組織等についての内容で行いたいと思います。会場はこの場所で 19:00 開会です。ご出欠の連絡がまだの方につきましては事務局へ23日までにまでお願いいたします。

・もう一つですが、金沢みなと RC より去る2月8日開催されました IM 参加に対するお礼状が届いております。また IM 会場におきまして男性コートの取り違えがありました。各事務局よりご出席になった男性会員の皆様に文書でご案内いたしました。コートはまだ見つからないとのことで再度確認させていただきます。

～2月8日のIMに最後まで出席された男性会員のみなさまへ～

クロックにてコートをお預けになり、帰られた方、当日クロックにて、間違えて黒のコートをホテルよりお渡ししてしまったようで、今日になってもコートの間違えに気づかれていないそうです。間違えられたコートには、「ORIBE」と名前が刺繍されていて、ICレコーダーの機器が入っていたそうです。もし、そのコートを受け取った方がいましたら、ご連絡下さいますようお願いいたします。



西村会員：国際奉仕より書損じハガキ収集についてのご協力お願いをしておりましたが、本日まで

でに101枚となりました。有難うございました。



北山会員：社会奉仕より「子ども夢フォーラム」高木代表から、明橋大二さんという精神科の先生の講演会のお知らせがあります。高木真理子様からのメール文をご紹介します。”いつも大変お世話になっております。今回、皆様にお願いがあってご連絡しました。2月24日に明橋大二氏の講演会を予定しております。まだ参加申し込みが少ないのです。そこで皆様から添付チラシを転送していただき、参加をよびかけるご協力をお願いできないでしょうか。お忙しいところ申し訳ありませんが、どうぞよろしくお願いいたします。”

2/24（火）午後のお仕事真っ最中の時間帯ではありますが、もし行かれることのできる方はお願いいたします。



藤間会員：出席委員より1月の平均出席率は71.09%でした。1/8は83.33%とすごく良かったのですが、その後67% 65% 67%ということなのでメーキャップをなさるなど出席率を上げて頂きたいと思います。よろしくお願いたします



稲山会員：北陸大学から皆様方にご協力願うことができないかということでお話させていただきました。北陸大学では1年前期の学生に実際に企業が抱えている課題を解決させる授業を行って、その上で失敗体験をさせるという授業を来年度考えております。学生には失敗体験ということをして伏せて企業の方には課題を学生に与えていただき、中間発表、最終報告会と厳しく対応いただき、残りの3年間一生懸命勉強するように仕向けていただくような内容を考えております。大学からギャラ・交通費等は一切でないのですが、社会貢献という形で考えていただける方がいらっしゃれば私までご一報くださるようお願いいたします。

ニコニコBOX



宮永会長：岸先生 本日はよろしくお願いたします。

石丸会員：先週は誕生祝ありがとうございました。

上杉会員：岸様ようこそ。お話楽しみにしています。

木場会員：岸様 ようこそ百万石へ。今日の卓話楽しみに聞かせていただきます。

東海林会員：岸 弘市さま 本日はようこそおこし下さいました。卓話よろしくお願いたします。

永原会員：岸様 本日の卓話よろしくお願いたします。先日アラブ首長国連邦ドバイに行ってきた。828 mのビル・ブルージェーハリファール・七つ星ホテルのバージュアルアラブ・海の中の別荘地パームジュメイはじめ世界最先端の建物施設など目を見張るものばかりでした。

講話の時間

『 金澤町屋～くらしの文化 』

岸アトラライフ研究所 所長 岸 弘 市 (きし こういち) 様

〔講師ご紹介〕



1963年 慶応義塾大学経済学部卒業後、地元金沢の繊維商社に入社。貿易営業マンとして活躍され、中国向けポリエステル加工糸織物輸出で日本一の実績を上げられました。

子会社で労務を経験され、社長、会長を経て、2006年4月、後進に経営権を譲渡して退社されました。若い頃からカウンセリングを勉強して経営労務に取り入れ実践、成果をあげられました。

現在、岸アトラライフ研究所 所長。独立行政法人 労働者健康福祉機構 石川産業保健総合支援センターのカウンセリング担当相談員、メンタルヘルス対策促進員もなされています。

一般社団法人日本産業カウンセラー協会認定の「産業カウンセラー」、「キャリアコンサルタント」と中央労働災害防止機構認定の「THP心理相談員」、「運動実践指導者（ヘルスケア・リーダー）」の資格をお持ちです。

いろいろな研究発表もされていらしゃいますが、本日の卓話の中でお聞かせいただければと思います。岸様 よろしくお願いたします。



〔講話〕 ご丁寧なご紹介をいただきました 岸 弘市と申します。ただ今ご紹介いただいたことは、大体私の本業でございまして、産業カウンセラーという仕事が主なものです。しかし今日は金澤町屋の住人として金澤町屋の文化についてお話申し上げ、共感いただければいいと思っております。私は長年金澤の町屋に住んでおります。飛梅町の「金沢くらしの博物館」に「金沢都市民族文化研究所」というのが併設されており、金澤町屋の研究も行っていました。その学芸員の方が土曜の市民公開講座で話してほしいと言われ、当時は北陸大学の小林先生や「能

作」の岡さん、「つば甚」のおかみなどが話をされており、私のような住民が話すことはなかったのですが、住民の目線から話もいいねということで賛同していただきました。今日はその時の話をベースにして前半は金澤町屋文化の底流にあるもの、後半はスライドと、住んでいる目線から町屋について話したいと思います。私の町屋の暮らしぶりは、あくまで我が家の四代における私的な暮らし方です。時代の変化にしたがって我が家の生活の仕方もどんどん変わってきました。しかしいまだに古臭い生活もしております。言い方を変えれば伝統的な暮らしという昨今流行りの言い方になるかもしれません。金澤町屋文化の語り部の一人として体験談を交えながらお話させていただきます。

1. 金沢の町家文化の底流にあるもの

(1) 自然環境からの影響・・・四季の明白な変化、積雪、地形（河岸段丘と石垣、坂、用水）

(2) 精神世界からの影響・・・浄土真宗の精神基盤、家族としての家、伝統行事における心のありよう

(3) 伝統文化からの影響・・・茶の湯の文化、もてなしの文化、家の中のしつらえ

2. 町家のとらえ方 ～ハードとソフトの二面から

(1) 観光資源的な外観からのとらえ方（行政的景観保存の観点から）・・・格子戸、下見板、瓦屋根、門、漆喰壁、貸家店舗としての活用

(2) 生活文化としてのとらえ方（住民の生活の場として）・・・住民生活に根ざした生活様式そのものとしての町家、居住者の日々の生活の息遣いが感じられる町家、家族構成、年齢、子どもの成長と自立を引き継いでの町家文化の継承

(3) 外国文化との違いを意識しての日本文化の保存・・・外国を見て知る日本家屋が生み出している生活文化の価値



3. 四季おりおりの暮らし（一住民としての我が家の暮らしを通して）

(1) 年末年始

・年末の正月を迎える準備・・・神棚や仏壇の掃除、玄関の飾りつけ、室内飾り（鏡餅、縁起物の掛軸、書院の飾り、天神様）

・元旦を迎えて・・・お

屠蘇、おせち料理、初詣、お墓詣り、百人一首などの遊び

(2) ひな祭り 雛段飾り

(3) 簀戸の入れ替え（夏への入れ替え、冬への入れ替え）・・・襖、障子、座布団

(4) 庭の手入れ・・・日々の手入れ、植木屋による季節の手入れ、時には大掛かりな庭工事

(5) 宗教行事・・・お寺さんの毎月のお経、氏神さまの祭礼、毎月のお寺さんのお経、お彼岸・お盆の墓参り、報恩講（ほんこさん）

(6) 客のもてなし（座敷を活かす）



① 普段の気の張った来客、都会からの客

② お茶会

③ コンサートと食事会

④ 外国人との交流

・外国人の来客

・外国人のホームステイ留学生

・22年ぶりにアメリカ人留学生の家庭を訪問しての国際交流

(7) 家族の絆

・家族の絆こそ家を残す基本



・夏、冬の家族大集合

・冠婚葬祭時の親戚のふれ合い

点 鐘

パストガバナーからの手紙 209 回

明治のガンコ者「夏目漱石」 炭谷 亮一

明治以降、最高の国民作家の呼び声高い「夏目漱石」、現代でも売れに売れている文庫本の王者、小学生から老

人まで巾広い読者層を持つ大衆人気作家、権威におもねない反骨作家、「紫式部」と比肩しうる日本文学史上に燦然と輝く二大文豪の一人、以上が「漱石」を表現するのにふさわしい言葉と考えている。

ただ作家活動は10年余りと短く作品数は少なく、執筆活動のジャンルも広くなく、わが郷土の文豪「泉鏡花」そして早逝の天才「三島由紀夫」等には劣る点は少なからずあるが、漱石の作品すべてが珠玉の名作と言える駄作はほとんどない。この稿では「反骨作家」という面に焦点を当てることにする。

イギリス留学から帰国した漱石は、東大や旧制第1高等学校で英文学の教鞭をとっていたが内心は教師がいやでいやでまさに不承不承状態、自身と家族の生活の為だけでつとめていた（二年間の国費留学の代償として倍の最低4年間は国家機関で働く義務があった）。

本心は執筆活動に専念、更には心血を注ぎたいとの思いが噴火寸前の火山のマグマの様なフラストレーションがたまりにたまっていた。

英語を知り、又二年間イギリスに滞在した経験から「漱石」には当時の日本人にとって英語はさほど重要ではない、それこそ海外貿易したり、外交官や海外特派員なら必要であるが、一般国民にとって英語の英の字ほども英語はまったく必要ではないと深く認識していた。大して重要でない英語を学生にあえて教える苦痛にじっと耐えていた。

そんな状況の中、東大英文学教授への就任の内示があった。しかし漱石は全然うれしくないどころか、吾輩は猫の主人公にでも食わせてやりたい心境だった。

ところがその時幸運にも「吾輩は猫である」「坊ちゃん」などで作家として文名が上がっていた漱石のもとに、1907年春に東京朝日新聞主筆の池田三郎が訪ねて来て、小説記者として入社する正式な要請があった。条件は年に一度、百回程度の小説を新聞紙上に掲載すること、その上年棒は東大教授の約二倍と高額で東大教授の肩書など「へ」でもない日頃思っていた漱石は家族も多く物いりで、この条件なら安心して思う存分執筆出来ると小躍りしたい気分だった。

その上池田の「先生を英語の教師にしておくのはもったいない、才能の持ちぐされです」とのくどき文句にぼーんと胸をたたいて快諾した。

ちなみに東大英文学の前任教授はあの有名な小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）であった。文部省の経費削減方針から、外国人教師の特別給与が余りに高額な為、半額で漱石に白羽の矢が当たったが漱石は“東大教授なんて「へ」みたいなもんよ”と一蹴してしまった。

1907年5月3日、朝日新聞紙上に漱石の「入社するの辞」が掲載された。一部抜粋が以下である。

余が新聞屋として成功するかせぬかは固より疑問である。かく申す本人すらその点について驚いている。然しながら大学のような榮譽ある位置を掴って新聞屋になったから驚くと言うならばやめて貰いたい。新聞屋が商売なら、大学屋も商売である。商売でなければ教授や博士になりたがる必要はなからう。新聞が商売であるが如く大学も商売である。新聞が下卑た商売であれば大学も下卑た商売である。只個人として営業しているのと、御上で御営業になるのとの差だけである。

以上が権威に一切おもねない、反骨作家「漱石」の面目躍如たる文章である。

当時の新聞社はヤクザの様になわばり意識が強く、関西から進出して来た、いつつぶれてもおかしくない新参者の新聞社に何んのためらいもなく飛び込んで行った勇気と反骨精神につくづく感心させられる。漱石は以下の様に叫んだのではないだろうか。「オイラにゃ東大教授なんて柄じゃねえ、このオツムと右手のペンさえありゃ、いっちょ勝負してやらあなあー」と。すでに執筆（作家）活動で食べていける相当な自信があった。漱石の朝日新聞での第1作目は名作として名高い「虞美人草」であった。その後「夢十夜」「三四郎」「それから」「門」と次々と連載した。

1906年44歳の時、又又ガンコ者「漱石」を証明する出来事があった。文部省から「博士号」を授与するとお達しが出ると、所管の文部省学務局長宛に辞退の旨手紙を出した。以下一部抜粋である。

右博士の称号を小生に授与になる事かと存じます。然るところ小生は今日までただの夏目なにがしとして世を渡って参りましたし、これから先もやはりただの夏目なにがしで暮らしたい希望を持っております。従って私は博士の学位を頂きたいのであります。・・・・

上記の通知のあと、局長が直々、漱石の家にやって来て直談判した。しかし漱石は一貫して授与を拒否し、話し合いは物別れに終わった。

その後学位記は送られて来た、その返送の際の手紙に「学位がほしくないと言っている者に、本人の意思に逆らって送って来ても、受け取る義務はない」と又「今の博士制度は功少なく弊害の方が多いと考えている一人であるとはっきり言わせてもうらう」とケンカ腰である。相当な自信である、そして文部官僚は切歯扼腕したのではないだろうか？一般的に言って当時の博士号は非常に数が少なく、しかも文部省よりの授与の為とても権威があつて邪魔になるものではない、それで損することもない、むしろ人の尊敬をうけるのに都合が良い、又プライドを保つうえでも役立つ、ところが逆に漱石はそんな俗っぽいものを自慢したり喜んだりする卑小な精神をきらったのだろう。作家は作品がすべてであり、誇るものは自身の作品だけでよいと考えていたのであろう。漱石が「反骨作家」と称されるゆえんである。

最後に「漱石」はイギリスでの二年間の留学生活は人生最悪の日々だったと述懐している。私は以下の様に理解している。漱石は元来うつ病気質があったところへ西洋（イギリス）の文明（文化）と漱石が愛してやまない江戸文明（文化）が衝突し漱石の方がチリチリ・バラバラに砕け散ったというのが実情だろう。

ガンコ者「漱石」らしく西洋文明と一切妥協出来ずロンドンの下宿にとじこもり、もんもんとし、ひたすら英文

学書を読みあさった日々だったろう。しかし帰国後、日本文学史上大変な偉業を成しとげた、それは史上初となる
言文一致（現代文）で「吾輩は猫である」を書き上げたことである。ガンコ者「漱石」よくぞやりとげた。

クラブフォーラム開催のご案内 副幹事 大路 孝之
日時 2月26日(木) フォーラム 19:30～20:00 (例会 19:00～20:00)
場所 ホテル日航金沢 5F「オーキッドルーム」
議題 ①次年度組織について ②次年度基本方針について

Subject: ローターの友への情報提供について

この度、ロータリーの友事務所より下記についての情報提供依頼がありました。

- ①「ロータリー親睦活動グループ」「ロータリアン行動グループ」に参加している会員
- ②「海外のロータリークラブに所属経験のある会員」
- ③「変わりダネ例会の食事」情報 (親睦、経費節減など例会における食事の役割について)

ホテルの食事ではなく仕出し弁当で行っている、経費節減のため月1回は質素にしている、など、例会の食事に工夫を凝らしているクラブの事例
①②については、添付用紙にご記入頂き、③については、自由様式にてそれぞれメールにて当方宛にご寄稿頂ければ幸いです。

RID. 2610 2014-15年度 ガバナー事務所 〒933-0945 富山県高岡市金屋本町
1-3(財)北陸予防医学協会 3F TEL 0766-26-6700 FAX 0766-26-6701E-MAIL
nagata14-15@rotary2610.jp

クラブ例会予定

2014-2015年度

- 2/5 北陸大学教授 長谷川 孝徳様
- /12 振替休会
- /19 岸アトライフ研究所 所長 岸 弘市様
- /26 クラブフォーラム

2014～15 役員・理事・委員会

(役員) 会長：宮永満祐美 **ELT**：魏賢任 副会長：若狭豊 幹事：井口千夏 副幹事：大路孝之

会計：上杉輝子 **SAA**：宍戸紀文 直前会長 野城 勲

(理事) 理事：二木秀樹 北山吉明 金沂秀 藤間勘菊 西村邦雄 武藤清秀

常任理事：石丸幹夫 吉田昭生 木場紀子

理事会オブザーバー・アドバイザー：バスターガバナー 炭谷亮一 地区バスター幹事 岩倉舟伊智 監査：後出博敏

(委員会) **クラブ管理運営委員長**：二木秀樹 副：東海林也令子 **親睦**：○武藤清秀 辰己クミ 水野陽子

金沂秀 川きみよ 上杉輝子 吉田昭生 杵屋喜三以満 魏賢任 大路孝之 高田重男

例会：(プログラム) ○東海林也令子 宍戸紀文 川きみよ 吉田昭生 (出席) 野城 勲 藤間勘菊

SAA：○宍戸紀文 稲山訓央 **ニコニコ**：○稲山訓央 若狭豊 **友好・クラブ細則**：細則 **CLP検討** 江守巧

富山西 **RC** との交流岩倉舟伊智 木場紀子 金沢北 **RC** との合同例会二木秀樹 杵屋喜三以満 高崎 **RC** との交流村田祐一

金沂秀 藤間勘菊 **直前委員長**：西村邦雄

奉仕プロジェクト委員長：北山吉明 副：水野陽子 **職業**：○永原源八郎 二木秀樹 大路孝之 稲山訓央

村田祐一 谷伊津子 **社会**：○村田祐一 谷伊津子 北山吉明 **新世代・青少年**○北山吉明

国際：○西村邦雄 **世界社会奉仕 (R財団)** 西村邦雄 **ラオス支援** 魏賢任 藤間勘菊 描き損じハガキ 江守道子

米山奨学会 木場紀子 奨学生の世話大路孝之 (カウンセラー) 野城 勲 **青少年奉仕** 国際青少年交換上杉輝子

ローターアクト研究会稲山訓央 上杉輝子 **直前委員長**：木場紀子

会員組織委員長：金沂秀 副：江守巧 **会員増強**：○金沂秀 岩倉舟伊智 武藤清秀 宍戸紀文

川きみよ 稲山訓央 大路孝之 **修練** 前期石丸幹夫 藤間勘菊 後期木場紀子 江守巧

広報委員会委員長：藤間勘菊 副：石丸幹夫 **広報**：藤間勘菊 吉田昭生 **ロータリー情報**：炭谷亮一 石丸幹夫

会報・ホームページ：石丸幹夫 宍戸紀文 **直前委員長** 村田祐一

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

(地区委員) **諮問委員会委員** 地区ガバナー氏名委員会委員、クラブ奉仕部門Bカウンセラー 炭谷亮一

社会奉仕委員会委員長 ロータリーとふるさとを考える委員会委員 谷伊津子

地区監査委員会委員長 後出博敏 **R米山奨学会委員会副委員長** 藤間勘菊

友情交換委員会委員 宮永満祐美

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL <http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/>

事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 休憩時間 12:00～13:00 木 15:00～20:00

休日 (土日祝日) 事務局員 西村有里 幹事 井口千夏